

可児市地域公共交通網形成計画 中間評価

(1) 計画全体の目標値

■公共交通全体の利用者数の維持・増加

目標とする指標	目標値[2026]	実績値[2022]	現状値[2017]
公共交通全体	4,547,230 人/年	3,851,097 人/年	4,531,219 人/年
J R 太多線	753,000 人/年	653,620 人/年	751,428 人/年
名鉄広見線	2,814,150 人/年	2,540,741 人/年	2,811,230 人/年
高速バス	237,980 人/年	156,885 人/年	237,560 人/年
路線バス	520,130 人/年	344,719 人/年	518,058 人/年
Y A O バス	83,690 人/年	48,764 人/年	78,894 人/年
さつきバス	53,910 人/年	47,831 人/年	51,781 人/年
K バス	1,680 人/年	807 人/年	1,396 人/年
電話で予約バス	29,010 人/年	25,741 人/年	27,586 人/年
K タク	1,120 人/年	— (運行終了)	964 人/年
一般タクシー	52,560 人/年	31,989 人/年	52,322 人/年

※ J R 太多線及び名鉄広見線は令和 3 年度の実績値

※高速バス及び路線バスは令和 4 年 10 月～令和 5 年 9 月の実績値

※その他の交通手段は令和 4 年度の実績値

公共交通全体の利用者数は目標値を下回っている。(※対目標値 84.7%、対現状値 85.0%)

2020 年 2 月頃からの新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛や、生活様式の変化に伴い、公共交通の利用者が大幅に減少した。

また、利用者数の減少や運転手不足等の影響により、一部路線において減便が行われ、2020 年度の利用者数からは増加しているものの、策定時の数値まで回復していない。

■公共交通の総合的な満足度の増加

目標とする指標	目標値[2026]	実績値[2023]	現状値[2017]
公共交通総合満足度 (満足+やや満足)	現状値より増加	12.2%	17.0%

公共交通の総合的な満足度は目標値を下回っている。

満足度を年代別に分析すると、60歳以上の満足度が低下しているとともに、20歳未満の不満割合が増加している。

図 可児市内における公共交通の総合満足度（市民アンケート調査）

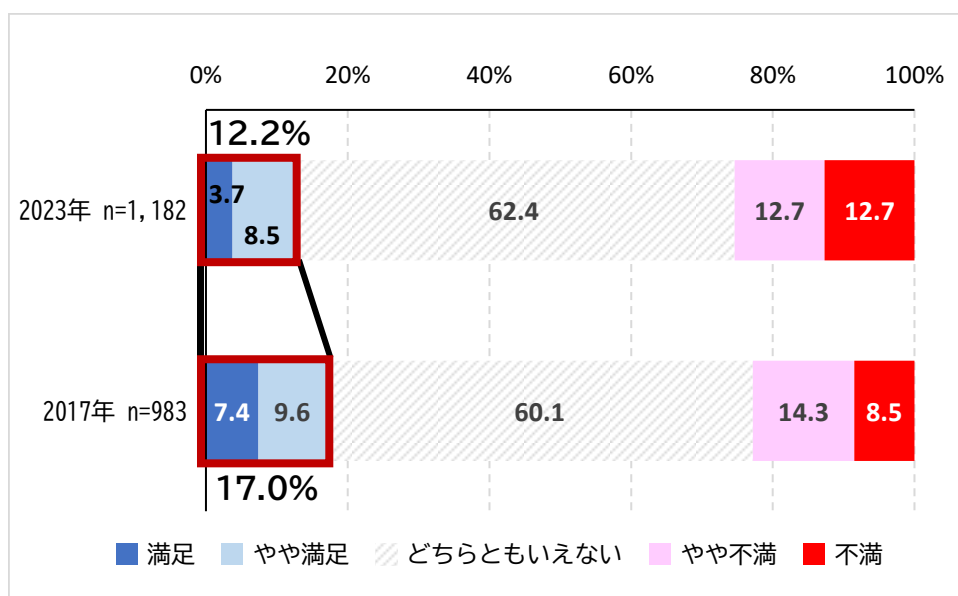
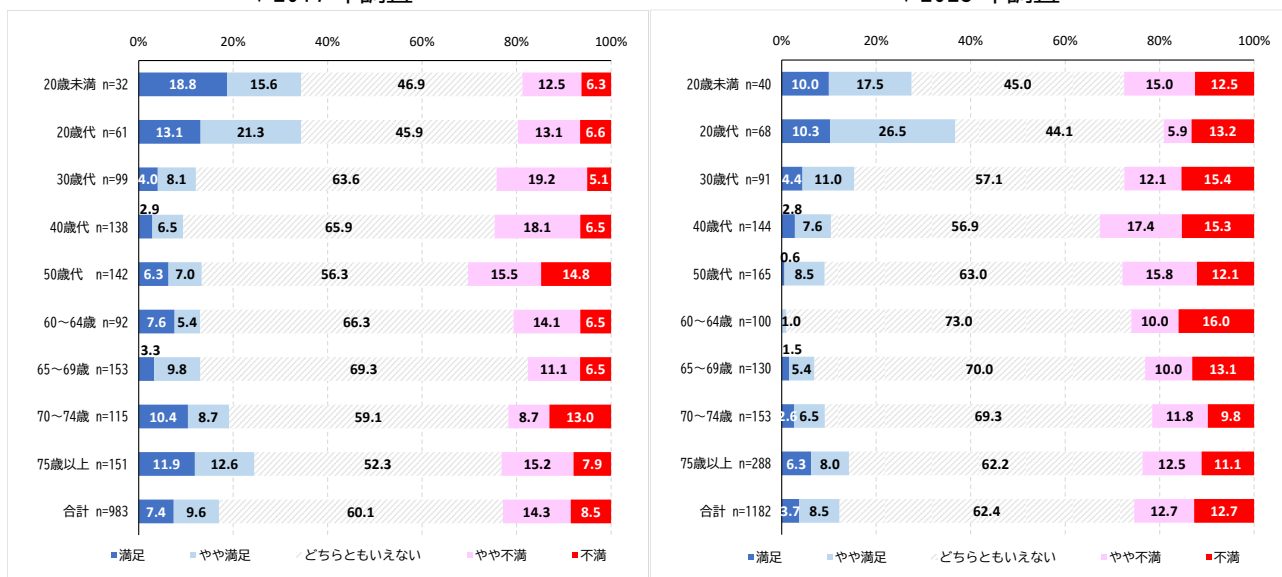


図 公共交通の総合満足度（年代別）

▼2017年調査

▼2023年調査



(2) 基本方針Ⅰの目標値

■公共交通を利用する割合の増加

目標とする指標	目標値[2026]	実績値[2023]	現状値[2017]
J R 太多線	35.0%	28.5%	33.3%
名鉄広見線	54.0%	48.5%	53.1%
高速バス	24.0%	11.9%	22.0%
路線バス	17.0%	9.2%	14.2%
Y A Oバス	4.0%	0.8%	2.4%
さつきバス	9.0%	6.2%	6.2%
電話で予約バス	5.0%	2.2%	2.6%
Kバス・Kタク	4.0%	0.5%	1.6%
一般タクシー	34.0%	21.3%	32.2%

公共交通を利用する割合は目標値を下回っている。

新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛や、生活様式の変化に伴う移動手段の変更（“密”を避けるため等）により、直近1年間に公共交通を利用した人の割合が低下した。

利用頻度を分析すると、「月に2～3回程度」以下の比較的低頻度で利用する人の割合が、各交通手段で減少している。特に、「高速バス」や「一般タクシー」において大きく減少している。

表 交通手段別利用頻度（市民アンケート調査 2017年・2023年）

		年に数日程度	月に1日程度	月に2～3日程度	週に1～2日程度	週に3～4日程度	平日はほぼ毎日	利用していない
J R 太多線	2017年	26.4	2.9	1.9	0.3	0.6	1.3	66.7
	2023年	22.3	2.7	1.3	0.5	0.6	1.0	71.5
	増加幅	-4.1	-0.1	-0.5	0.3	0.1	-0.3	4.8
名鉄広見線	2017年	35.1	6.9	5.3	1.6	1.2	3.1	46.9
	2023年	35.1	4.4	3.8	1.1	1.0	3.1	51.5
	増加幅	0.0	-2.5	-1.5	-0.5	-0.2	0.0	4.6
高速バス	2017年	18.2	2.2	1.0	0.1	0.2	0.3	78.0
	2023年	9.7	1.2	0.5	0.2	0.1	0.2	88.1
	増加幅	-8.5	-1.0	-0.5	0.1	-0.1	-0.1	10.2
路線バス	2017年	10.6	1.7	1.3	0.4	0.1	0.1	85.8
	2023年	5.5	1.1	1.2	0.9	0.3	0.2	90.8
	増加幅	-5.1	-0.5	-0.1	0.5	0.2	0.1	5.0
Y A Oバス	2017年	1.2	0.3	0.6		0.1	0.3	97.6
	2023年	0.6	0.1	0.1		0.1	0.0	99.2
	増加幅	-0.6	-0.2	-0.5	0.0	0.0	-0.3	1.6
さつきバス	2017年	3.2	0.8	1.3	0.6	0.2	0.1	93.8
	2023年	3.5	0.8	0.9	0.6	0.2	0.2	93.8
	増加幅	0.3	0.0	-0.4	0.1	0.1	0.1	0.0
電話で予約バス	2017年	1.5	0.6	0.4	0.2			97.4
	2023年	0.6	0.5	0.7	0.2	0.1	0.2	97.8
	増加幅	-0.9	-0.1	0.3	0.1	0.1	0.2	0.4
Kバス・Kタク	2017年	0.7	0.6	0.4				98.4
	2023年	0.3	0.1	0.1				99.5
	増加幅	-0.3	-0.5	-0.3	0.0	0.0	0.0	1.1
一般タクシー	2017年	25.4	2.9	2.9	0.7	0.3	0.1	67.8
	2023年	16.3	2.1	2.5	0.3	0.1		78.7
	増加幅	-9.1	-0.8	-0.4	-0.3	-0.2	-0.1	11.0

(3) 基本方針Ⅱの目標値

■公共交通の情報・案内のわかりやすさに関する満足度の増加

目標とする指標	目標値 [2026]	実績値 [2023]	現状値 [2017]
手持ちの路線図や時刻表の見やすさ	現状値より 増加	29.6%	28.2%
乗り継ぎの情報や乗り継ぎ案内のわかりやすさ	現状値より 増加	23.0%	18.4%

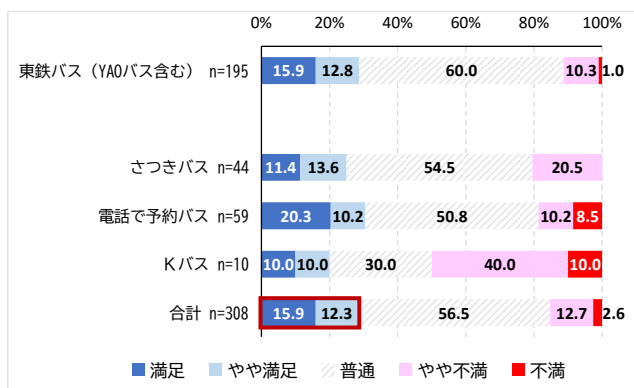
公共交通の情報・案内のわかりやすさに関する満足度は目標値を上回っている。

「手持ちの路線図や時刻表の見やすさ」では、各交通手段とも満足度が向上している。

「乗り継ぎの情報や乗り継ぎ案内のわかりやすさ」では、東鉄バスにおいて満足度が向上している。

図 「手持ちの路線図や時刻表の見やすさ」の満足度（利用者アンケート調査）

▼2017年調査



▼2023年調査

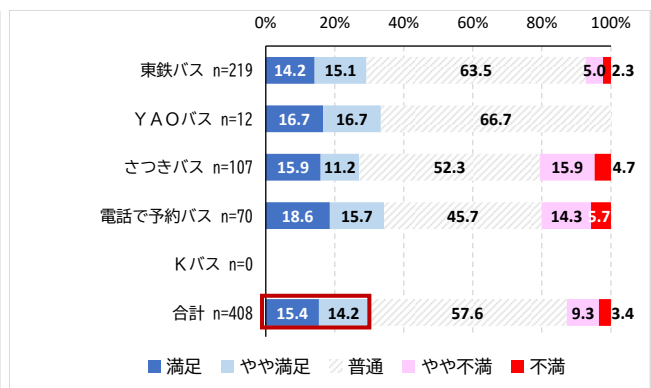
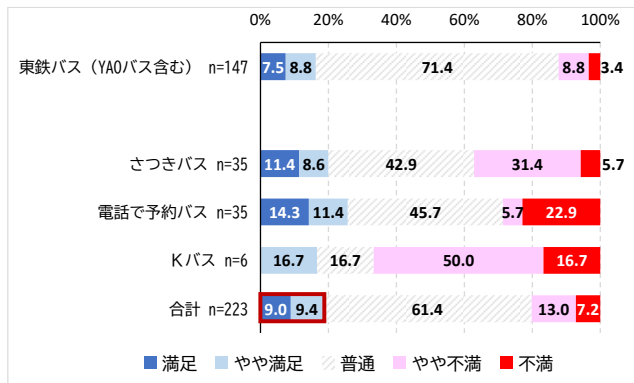
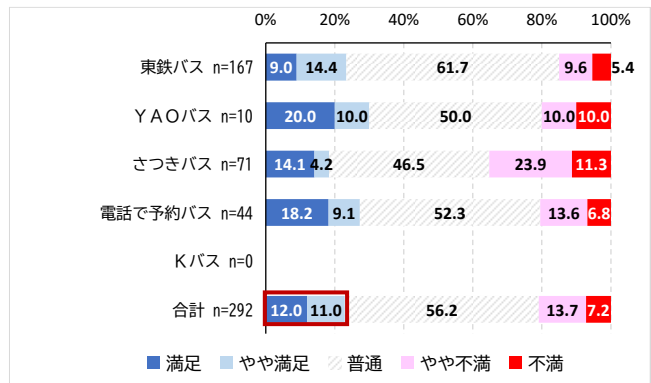


図 「乗り継ぎの情報や乗り継ぎ案内のわかりやすさ」の満足度（利用者アンケート調査）

▼2017年調査



▼2023年調査



(4) 基本方針Ⅲの目標値

■地域主体または地域と交通事業者・可児市と連携した取り組みの実施

目標とする指標	目標値 [2026]	実績値 [2023]	現状値 [2017]
地域主体または地域と交通事業者・可児市が 連携した取り組み	2回／年以上	4回	一回

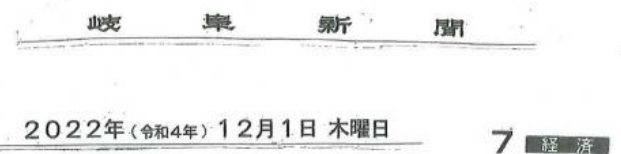
地域主体または地域と交通事業者・可児市と連携した取り組みは目標値を上回っている。

- ①高齢者サロンや地区センター講座などで、コミュニティバスの乗り方講座を実施。
- ②過去に講座を実施したサロンの団体で、実際の乗車とお茶会をセットにしたイベントを実施。
- ③貨客混載で、可児市で栽培したイチゴを、東濃鉄道のバスで都市部へ輸送。

取組① 姫治地区センターにて行われた
姫治大学の講座の様子



取組③ 農福連携によりイチゴを栽培する
中電ウイングと、東濃鉄道による
貨客混載の新聞記事



高速バスでイチゴ出荷

東濃鉄道と中電ウイングが、将来的には最大20トンを運ぶ。高速バスでの出荷はこのうち半分を見込み、出荷先は新信タカシマヤなど首都圏の百貨店や洋菓子メーカー。今から東鉄バスの貨客混載輸送に乗り出す。高速バスは、高速道路の料金割引を利用し、イチゴを首都圏に出荷する。配送コストを抑え、少量ながら定期的な出荷で首都圏への農産物取扱を支援する。

イチゴは障害者雇用を進める可児市矢野大農場の農場で生産したもので、この9月から本格的に開始した。本年度はよつばし、紅ほっぺ、章姫の3品種を年間16トン出荷し、将来的には最大20トンを運ぶ。高速バスでの出荷はこのうち半分を見込み、出荷先は新信タカシマヤなど首都圏の百貨店や洋菓子メーカー。今から東鉄バスの貨客混載輸送に乗り出す。高速バスは、高速道路の料金割引を利用し、イチゴを首都圏に出荷する。配送コストを抑え、少量ながら定期的な出荷で首都圏への農産物取扱を支援する。

東濃鉄道は「空スペースを有効活用し、鮮度を保ちながらいち早く、安定的に商品を出荷していく」としている。

高速バスで使う貨客混載専用クーラーボックスは可児市矢野大農場、中電ウイングが提供。